

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀市立久保泉小学校
1 前年度 評価結果の概要	・豊かな心と自己肯定感の育成について、「ほかほか言葉」の活用や行事での役割付与により、他者への思いやりと児童の自己肯定感が大きく向上した。 ・主体的な集団活動の充実について、学級活動やエンカウンタータイム等の充実により、児童が自信をもって意見を表出し、異学年を含めた良好な人間関係が構築された。 ・家庭と連携した生活・学習習慣の確立について、休日の学習時間や「早寝早起き・朝ごはん」の達成率が目標に届いておらず、家庭への啓発と習慣化に向けた支援が引き続き必要である。
2 学校教育目標	夢に向かって 共に学び合う 笑顔あふれる 子どもの育成 児 かしこい子（主体的に学び、思いや考えを表現し、新たなことに挑戦できる子ども） 童 やさしい子（感謝の心をもち、自分も相手も大切にできる、思いやりのある子ども） 像 たくましい子（夢と目標をもち、心身ともに健康で、最後までやり遂げる子ども） ふるさとを愛する子（ふるさとに誇りをもち、学校や地域を大切に子ども）
3 本年度の重点目標	【雄飛学園「めざす15歳の姿」】 基礎学力を身に付け、自分の進路目標に向かって真剣に努力する。 倫理観、社会常識を身に付け、正しい判断力をもち行動する。 ふるさとに誇りと愛着をもち、社会の一員として自立しようとする。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○学習のきまりを身に付け、実践する教育活動	○「学び方について」の学習に関する4項目を守って学習することができたと回答した児童が85%以上。 ○「まなざし週間」での学習の目標を達成できたと回答した児童が80%以上。 ○まなざし週間の実施を通して、家庭での学習が定着してきていると回答した保護者が80%以上。							確かな学び部:笠原		
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「ほかほか言葉」を使っていると回答した児童が85%以上。 ○友達には誰とでも分け隔てなく話したり関わったりしていると回答した児童が85%以上。 ○「学校は、思いやり的心や命の大切さを育む心の教育」ができていると回答した保護者が80%以上。							豊かな心部:川崎		
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの早期発見、早期対応に向けて組織的な取組みができていると回答した教員が90%以上。							豊かな心部:川崎		
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童が80%以上。 ●「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした児童が80%以上。 ●「学校は子どもに将来の夢や目標をもたせる」ための活動を行っている」と回答した保護者が80%以上。							すこやかな育ち部:山崎		
●健康・体づくり	◎望ましい生活習慣の形成	○基本的な生活習慣「早ね早起き」「朝ごはん」ができていると回答した児童が85%以上。 ○子どもたちが「早ね早起き」「朝ごはん」ができていると回答した保護者が85%以上。 ○「まなざし週間」での生活の目標を達成できたと回答した児童が85%以上。							確かな学び部:笠原		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上。							管理職等:教頭		
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の更なる向上	○特別支援教育に関する専門性が向上した教員が85%以上。 ○「学校は、配慮が必要な子どもたちへの支援を協力して行っている」と回答した保護者が80%以上。							豊かな心部:川崎		
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○特別活動	○個を生かし、集団を育てる、学校全体で取り組む特別活動の充実	○学級会の話し合い活動を肯定的に感じた児童が85%以上。 ○児童が自信をもって自分の思いや考えを表出できるような手立てを行ったと回答した教員が85%以上。							研究主任:石井		
◎地域連携	◎ふるさとのよさに気付き、愛着の深化	◎地域の「人、もの、こと」に対する関心が高まり、地域を再発見したと回答する児童が90%以上。 ◎地域の「人、もの、こと」に関わる活動を進めることができた」と回答する教員が90%以上。							教務・教頭・笠原		

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--